

平成27年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	事業進捗状況			事業を進捗内容	事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し
					採択年	総事業費	進捗率				
					目標年	工事費	進捗率				
水道施設整備事業	12	北中勢水道用水供給事業	桑名市・四日市市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・川越町・朝日町・菰野町・津市・松阪市	③	H5	91,962	59.0%	【事業実施内容】 (北勢系)H10～ 播磨浄水場拡張 (18,000m ³ /日)1式 潤田送水ポンプ所 1式 野々田調整池 1式など 実行済:16,991百万円 進捗率(事業費):80.7%	水需要への影響要因の動向 ①人口の動向 給水対象市町の人口は平成20年度をピークに微減傾向にあります。 ②水需要の動向 給水対象市町の水需要(一日最大給水量)は、節水型機器の普及、水使用行動の変化を受けて近年では微減傾向にあり、前回再評価時の推計値を下回る結果となっています。(H30年度推計値 前回:484,221m ³ /日 今回:478,199m ³ /日) ③渇水発生状況 近年、給水支障には至らないまでも、節水が実施されることもあり、受水市町からの、渇水時における安定給水への要望は変化することなく、水源の多重化が求められています。	【費用対効果分析】 2.68(B/C=5,569.6億円/2,076.9億円) 【コスト縮減】 事業執行の精算により、事業費は、前回再評価時(96,088百万円)から、約41億円の縮小となっています。残事業についても新技術の採用や施工方法の見直しを行うほか、質を維持しつつ経済性を追求した入札契約制度を検討するなど、コストの縮減を念頭においた円滑な事業の推進を図っていきたくと考えています。 【代替案】 ①水源の見直し:受水市町において、他水源の確保が困難なために、長良川河口堰へ水源を求めたものであり、河口堰以外に安定した水源が存在しません。 ②水道事業の統合:本事業は10市町を給水対象とし、広域的に整備を行うための水道用水供給事業です。 【新技術の活用】 新技術活用の可能性:高度浄水施設(活性炭処理)の導入をすでに採用しており、現時点では、本事業の基本計画に関わるような新技術の開発は確認されておられません。 ただし、個々の工事については、管路における耐震管の採用や、コスト縮減につながる新技術を積極的に採用していきます。	関係機関との調整を行いながら、県と受水市町との連携による水道整備(事業推進)を引き続き行っていきます。
					〃	82,657	59.0%	【以降実施内容】 取水所・導水ポンプ所 1式 大里浄水場整備 1式など (北勢系) 残事業費:4,067百万円 (中勢系) 残事業費:33,623百万円			
					H36	3,138	48.8%				

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業